

# 平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	1	担当部課名称	選挙管理委員会事務局
事務事業名	県議会議員及び県知事選挙の管理執行		
見直しのタイトル	働き方の見直しによる効率的な事務執行		
添付資料 有無	無		

## 1 現状における課題

- 各選挙の管理執行にあたっては、投票所等の場所確保や選挙事務従事職員等の人員確保、多くの選挙関係書類の作成等、選挙期日公示日前であっても煩雑な事務処理を正確、迅速に執行していく必要があり、従来から22時過ぎまでの残業や休日出勤が続き、職員に過大な事務負担が発生している。しかし、市として働き方の見直しへの取り組みを行っており、また、職員の健康管理の上からも、業務の平準化、効率的な実施方法を検討する必要がある。

## 2 業務改善の趣旨及び具体的内容

### 【趣旨】

従来の選挙事務処理日程を見直し、事務処理の効率化及び業務量の平準化を図る。

### 【具体的内容】

- 事前準備から選挙執行までの事務日程スケジュール表を作成する。
- スケジュール表に基づいた進行管理を行いながら、分担業務量の平準化及び臨時職員などの人的資源の効果的な投入時期を検討する。
- 業務の平準化、見える化により、できるだけ余裕をもった事務執行を行い、週1日の週休日の確保及び22時以降の時間外勤務の削減を目指す。

## 3 改善により期待できる効果

- 働き方の見直しによる職員の適切な健康管理。
- 効率的な事務執行による時間外勤務の削減。

## 4 実施スケジュール（概要）

- 選挙事務処理日程の作成（4月～9月）
- 事務進行状況の確認及び重点処理事項の共有（5月～3月）
- 選挙事務臨時職員の投入時期及び人数の検討及び採用（9月～3月）

## 5 実施結果の振り返り

5月までに従来の選挙事務処理日程を見直し、効率化すべき業務及び担当間の業務量を平準化するような計画を作成しました。

また、臨時職員についても日程を再検討する中で効果的な活用ができるよう人数及び雇用時期を調整しました。

しかし、11月に急遽、市長選挙及び市議会議員選挙の執行という想定外の業務が発生し、一時的な残業時間の増大と下半期の業務計画について大幅な見直しが必要となりましたが、当初の事務日程の見直しも円滑に行うことができ、週1日の週休日の確保及び22時以降の時間外勤務の削減についてもある程度の成果があった外、想定外の執行であった市長選挙及び市議会議員選挙についても開票時間も短縮することができました。

# 平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	3	担当部課名称	選挙管理委員会事務局
事務事業名	市議会議員及び市長選挙の管理執行		
見直しのタイトル	働き方の見直しによる効率的な事務執行		
添付資料 有無	無		

## 1 現状における課題

- ・各選挙の管理執行にあたっては、投票所等の場所確保や選挙事務従事職員等の人員確保、多くの選挙関係書類の作成等、選挙期日公示日前であっても煩雑な事務処理を正確、迅速に執行していく必要があり、従来から22時過ぎまでの残業や休日出勤が続き、職員に過大な事務負担が発生している。しかし、市として働き方の見直しへの取り組みを行っており、また、職員の健康管理の上からも、業務の平準化、効率的な実施方法を検討する必要がある。

## 2 業務改善の趣旨及び具体的内容

### 【趣旨】

従来の選挙事務処理日程を見直し、事務処理の効率化及び業務量の平準化を図る。

### 【具体的内容】

- ・事前準備から選挙執行までの事務日程スケジュール表を作成する。
- ・スケジュール表に基づいた進行管理を行いながら、分担業務量の平準化及び臨時職員などの人的資源の効果的な投入時期を検討する。
- ・業務の平準化、見える化により、できるだけ余裕をもった事務執行を行い、週1日の週休日の確保及び22時以降の時間外勤務の削減を目指す。

## 3 改善により期待できる効果

- ・働き方の見直しによる職員の適切な健康管理。
- ・効率的な事務執行による時間外勤務の削減。

## 4 実施スケジュール（概要）

- 選挙事務処理日程の作成（4月～9月）
- 事務進行状況の確認及び重点処理事項の共有（5月～3月）
- 選挙事務臨時職員の投入時期及び人数の検討及び採用（9月～3月）

## 5 実施結果の振り返り

5月までに従来の選挙事務処理日程を見直し、効率化すべき業務及び担当間の業務量を平準化するような計画を作成しました。

また、臨時職員についても日程を再検討する中で効果的な活用ができるよう人数及び雇用時期を調整しました。

しかし、11月に急遽、市長選挙及び市議会議員選挙の執行という想定外の業務が発生し、一時的な残業時間の増大と下半期の業務計画について大幅な見直しが必要となりましたが、市長選挙の執行計画の前倒し等も含め、当初の事務日程の見直しも円滑に行うことができ、週1日の週休日の確保及び22時以降の時間外勤務の削減についてもある程度の成果があった外、開票時間も短縮することができました。